

## 煙台市

### 【都市基本データ】

- 1、人口 643.35 万人（1998 年末現在）
- 2、面積 市の総面積は 13745.74 平方キロメートルで、市街区の面積は 2643.60 平方キロメートル

### 3、概況

煙台市は山東半島中部にあり、東経119°34' ~ 121°57'、北緯36°16' ~ 38°23' に位置する。東は威海に連なり、西は濰坊に接し、西南は青島に隣接し、北は渤海、黄海に臨み、遼東半島と対峙している。そして大連とは海を隔てて向かい合い、共に首都北京を取り囲み防護するような海の玄関口となっている。

煙台市は芝罘、福山、牟平、萊山の4区と長島県を管轄し、竜口、萊陽、萊州、蓬萊、招遠、栖霞（棲霞）、海陽の7つの県級市を代行管轄している。市全体には94鎮、街道弁事処（出張所）48カ所、6郷、住民委員会467、村委員会6315、自然村6880が設けられている。

煙台市は沿海開放都市で、ハイテクノロジー産業、商業、観光を中心とした近代化、国際的港湾都市である。

### 【経済状況】

- 1 GDP 16,308,900万元（2004年）
- 2 一人当たりのGDP 25,183元（2004年）
- 3 産業別GDP（第一・二・三次）

区分	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年
総数 (100%)	304,923	572,569	1,485,282	5,394,000	8,795,900
第1次産業 (%)	139,954 (45.90)	227,578 (39.74)	471,283 (31.73)	1,266,700 (23.48)	1,261,400 (14.34)
第2次産業 (%)	103,965 (34.10)	220,360 (38.49)	624,544 (42.05)	2,552,700 (47.32)	4,559,700 (51.84)
第3次産業 (%)	61,004 (10.00)	124,631 (21.77)	389,455 (26.22)	1,574,600 (29.20)	2,974,800 (33.82)

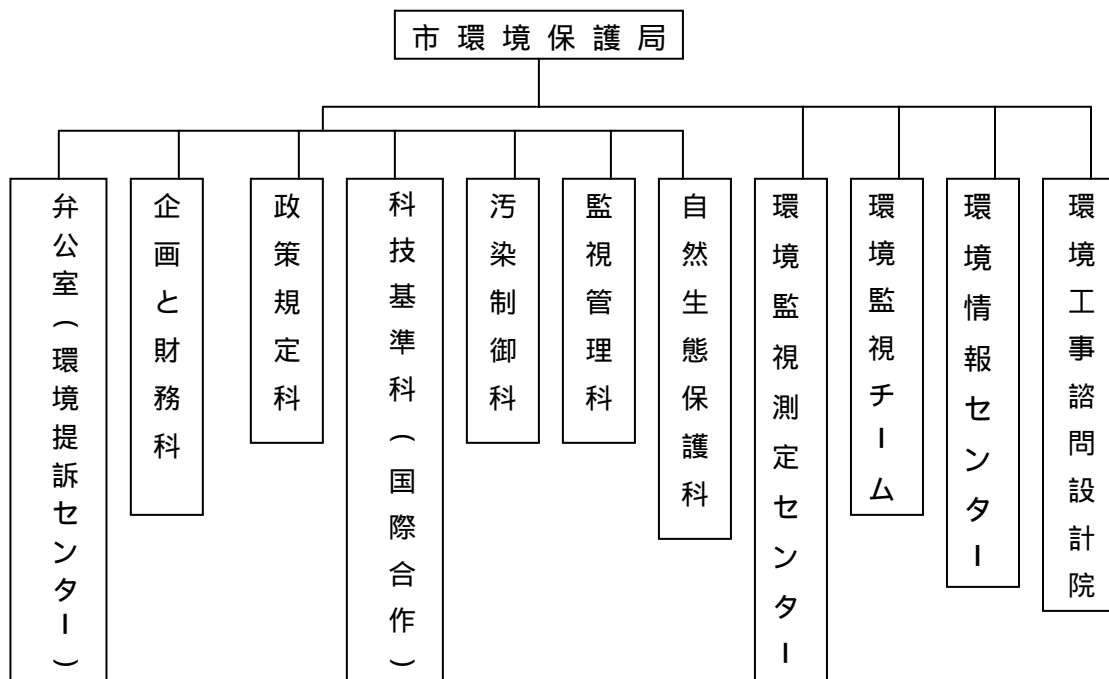
## 【行政機構】

### 1 市の組織

煙台市の下には63の局委員会事務局が設けられ、芝罘、福山、牟平、萊山の4区と長島県を管轄し、竜口、萊陽、萊州、蓬萊、招遠、栖霞(棲霞)、海陽の7つの県級市を代行管轄している。市全体には94鎮、街道弁事処48カ所、6郷、467の居住民委員会、6315の村委員会、6880の自然村が設置されている。

### 2 環境局の組織機構

煙台市環境局内には7科室が設けられ、その他環境監視測定センター・ステーション、環境監視チーム、環境情報センター、環境工事諮問設計院が設置され、各区と代行管轄の各縣市にはそれに応じた環境機関が設けられている。市全体の環境保護職員は859名。



### 3 都市基本計画(主体計画)及び主要な建設項目

都市全体計画の指導思想は、全体の局面に着目し、将来に向かって、「大、高、外の経済構造を構築し、近代化の、国際的港湾都市を建設する」ことを戦略目標とする。都市全体計画の基本目標は、煙台市経済と社会発展戦略構造による基本的な整備が実行されている段階である。近代的インフラ建設を強化し、都市高速交通体系を確立し、都市運行効率を向上させる。山、町、海、島が互いに融合した構造を作り出し、生態を保護し、都市環境品質を向上させる。関連地域の市区一体化の調和発展プロセスを加速させ、中心都市の発展を促進する。空間的余裕があり、きちんとした計画、秩序ある発展、先取りした柔軟性のある都市用地規制体系を確立して、計画の融通性を一層強化し、慣例を超えた発展のニーズに順応する。

煙台市の発展目標は以下のように明確にされた

- (1)「五区」(経済技術開発区、保税區、観光不動産開発区、農業開放開発区、ハイテクノロジー産業区)を「主導」として、「大、高、外」の発展戦略を堅持し、次第に産業構造を調整し、構造規模を拡大し、基礎がしっかりした、大規模、高技術、外向的加工工業センターを建設する。
- (2)「両港」(空港、海港)、「三線」(徳竜煙線、蘭煙線、煙大鉄道フェリー線)の建設を速め、東北と華北、華東を結び、沿海都市と内地をつなぎ合わせ、日韓に広がる、ユーラシア大路桥をつなぐ海陸空立体交通中枢を形成する。
- (3)都市インフラ建設を強化し、第三産業の発展に力を入れる。水源、電気供給、通信、環境工事の建設を最優先し、投資のインフラ環境を改善する。
- (4)対外開放のチャンスをつかえ、地域の強みを発揮し、観光資源を利用して、不動産開発を加速させる。短期間内に、一定規模とレベルを備えた金融センター、ビジネス貿易センター、情報センター、会議センター及び観光アミューズメント・リゾート村を建設する。

#### 四大建設プロジェクト

- 1、先進的製造業基地を建設し、機械、電子、食品、金の四大支柱産業をいっそう発展させ、販売収入5000億元突破を努力目標とする。同時に石油化学工業など潜在力のあ  
る三大産業を発展させ、国家と省の石油化学基地、北方最大のアルミニウム合金材  
料基地、全国で重要な銅生産基地を建設する。自動車及び部品等六大製品グルー  
プを発展させ、2010年までに、市全体の完成車の生産量を67万台にする。
- 2、都市インフラ建設を加速させ、芝罘区旧市街地改造を完成させる。海浜広場を中心  
に、センタービジネス地区を計画建設する。萊山区、福山区、牟平区の「村改造」工  
程の歩調を速め、三区農村都市化の過程を速める。
- 3、完備した交通システムを建設する。煙台港を主導に、竜口港を柱とし、その他の中小  
型港湾を補助とした港湾群を建設する。2010年までに、市全体の港湾貨物出入量  
を2億トン、コンテナ200万標準箱の実現をめざして努力する。  
陸海鉄道大街道と環渤海鉄道大街道を貫通させ、2010年までに、市全体の鉄道総延  
長は490キロメートルに達し、海上フェリー89海里、市全体の鉄道旅客輸送量400万人、  
貨物輸送量1200万トン、市全体の自動車道路整備総延長は12000キロメートル、自動  
車道路密度87.3キロメートル/百平方キロメートルに達し、基本的に「五縦五横一環」  
のハイクラスの自動車道路を主要な骨組みとした幹線自動車道路網とスムーズにつ  
ながり、四方八方に通じた農村自動車道路網を形成する。
- 4、交通総合情報システムを完全整備し、電子行政事務、インテリジェント化物流システ  
ムと公衆外出交通情報管理システムを全面的に普及させる。

## 【環境の現状】

### 1 環境に関する指標（2004年）

#### （1）環境総合指標

番号	指標	項目	単位	指標値	
1	環境質量	可吸入顆粒物質濃度年間平均値	Mg/m <sup>3</sup>	0.068	
2		二酸化硫黄濃度年間平均値	Mg/m <sup>3</sup>	0.053	
3		二酸化窒素濃度年間平均値	Mg/m <sup>3</sup>	0.032	
4		集中式飲用水水源地水質基準の達成率	%	96.89	
5		近海海域機能区水質基準達成率	%	100	
6		地域環境騒音平均値	dB(A)	54.1	
7		交通幹線道路騒音平均値	dB(A)	69.8	
8	汚染制御	粉塵制御区覆蓋率及び クリーンエネルギー使用率	% / %	100.00/15.68	
9		自動車排ガス基準の達成率	%	82.76	
10		産業固形廃棄物リサイクル処理率	%	96.87	
11		危険廃棄物集中処分率	%	17.22	
12		企業の排出 基準 達成率	産業排水基準の達成率	%	95.32
			産業ばい煙排出基準の達成率	%	99.70
			産業二酸化硫黄排出基準の達成率	%	85.71
	産業粉塵排出基準の達成率		%	99.99	
13	環境建設	都市下水集中処理及びリサイクル率	% / %	70.48/1.82	
14		生活ごみ無害化処理率	%	86.29	
15		建成区緑化覆蓋率	%	40.93	
16		自然保護区覆蓋率	%	9.76	

#### （2）固形廃棄物の状況

生活ごみ	排出量	34.65	万トン/年
	処理量（埋め立て）	29.90	万トン/年
	（その他の処理）	4.75	万トン/年
産業固形廃棄物	排出量	1046.99	万トン/年
	処分量	97.98	万トン/年
	総合利用量	916.24	万トン/年

### (3) 生活廃水の処理状況

都市地域の上水供給総量	5949	万トン/年
下水排出量	2817.57	万トン/年
下水処理量	1985.92	万トン/年
リサイクル量	100.12	万トン/年

#### 2 環境分野で直面している課題と対策

煙台市は国家環境模範都市として環境改善、経済促進、環境調和発展方面で一定の成績を収めている。しかし、世界の環境が素晴らしい都市と比較すると、まだ大きな隔りがある。経済発展と環境負荷、都市化プロセスの加速と環境インフラの遅れ、各者間の矛盾を如何に処理して、循環経済理念を社会の各分野で普及促進し、廃水、生活ごみの回収と利用を実現するかが、今後当市の環境保護業務の重点である。

- 1、「碧水青空」活動を実施し、環境総合整備を通じて、産業構造を改善し、汚染整備レベルを向上させ、クリーナー・プロダクションとISO14000体系認証作業を推進し、企業排出汚染物質が国家環境基準に達するよう確保し、汚染物質の排出量を最大限に削減し、市民に美しく、調和の取れた生活環境を創造する。
- 2、「都市インフラ建設」活動を実施し、都市の生態環境荷重能力を増強する。城鎮の污水収集、処理システムを整備し、污水高度処理、再利用を実現させる。生活ごみ無害化処理レベルを向上させる。都市集中ガス供給と集中熱供給工事を積極的に推進し、エネルギー構造を絶えず変化させる。都市の緑化を推進し、庭園式都市を建設する。
- 3、「生態保護」活動を実施し、生態機能を修復させる。『煙台生態市建設計画』を実施し、いくつかの生態機能保護区を建設するモデルプロジェクトを発動する。生態機能保護区監視管理制度を整備させ、農村の生態環境保護を強化し、エコロジー農業の発展を推進する。人為的生態破壊を抑止し、復元させる。
- 4、「循環経済」活動を実施して、資源利用率を向上させる。再利用、再循環、減量化の原則をガイドラインとして、循環経済の発展に力を入れ、成長方式の根本的改変を実現させる。電力、セメント、製紙、電気メッキ、金等の業種でクリーナー・プロダクションとISO14000体系の認証作業の推進に力を入れ、循環経済の産業チェーンを確立し、節約型の良好な発展の道を進む。